取扱説明書

日立浅深両用ポンプ用　浅井戸ジェット

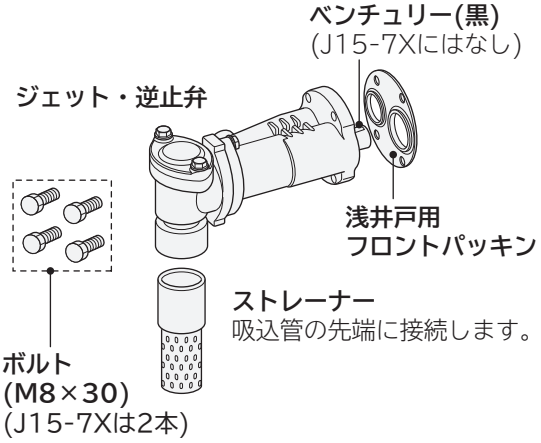
HITACHI
Inspire the Next

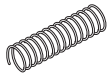
J15-7X形・J25-7X形・J40-7X形・J75-7X形

このたびは浅井戸ジェットをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
お買い上げの部品は、「日立浅深両用ポンプ」と組み合わせて使用していただくものです。

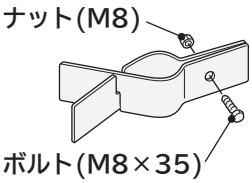
●据え付けは専門工事が必要です。販売店・工事店へ依頼し、お客様自身では行わないでください。
●この説明書は、ポンプ本体に付属している説明書とともに大切に保存してください。

部品の名称と使いかた



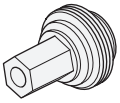


押しばね
(CT形との組み合わせの場合に使用)
吸上高さが3mより浅いとき、
または押込揚程のときは、
逆止弁の中に入れます。



固定金具 1式
吸込管の固定に使用します。

サクションカラー(X)
(J15-7Xには付属なし)
X形(非自動ポンプを除く)
のポンプと組み合わせる
ときにポンプヘッドに取り
付けます。**→(P.2)**



ベンチュリー(白)
(J15-7Xには付属なし)
非自動ポンプまたは、W形
以前のポンプと組み合わせ
るときにベンチュリー(黒)
と交換します。**→(P.3)**

据付工事について（販売店様・工事店様用）

据え付け前の確認

「ポンプ」と「浅井戸ジェット」の組み合わせ確認
下表の組み合わせであることを確認してください。

ジェット型式	ポンプ型式	
	X形（配管工事についてはP.2をご覧ください）	W形以前（配管工事についてはP.3をご覧ください）
J15-7X	CT-P150X	CT-P150
J25-7X	CT-P250X、CT-K250X、CM-P250X	CT-P250、CT-K250
J40-7X	CT-P400X、CM-P400X、C-P400X	CT-P400、CT-P600、C-P400
J75-7X	CT-P600X、CT-K750X、CM-P600X、CM-K750X、C-K750X	CT-K750、C-K750

※ X形ポンプ(非自動を除く)とX形ジェットを組み合わせた場合の吸上高さ　：押込揚程2m～吸上高さ7m
　非自動ポンプまたはW形以前のポンプとX形ジェットを組み合わせた場合の吸上高さ：押込揚程2m～吸上高さ6m

配管工事について

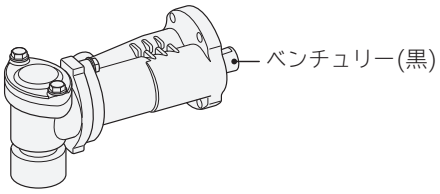
ポンプの型式によって施工方法が異なります。
現在お使いのポンプ型式をご確認ください。

X形(非自動ポンプを除く)のポンプをお使いのお客様

C-P400X、C-K750Xをお使いのお客様は(P.3)をご覧ください。

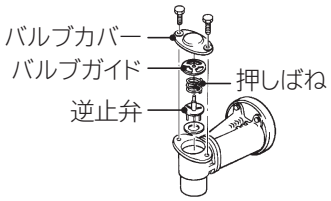
ご注意

ベンチュリー(黒)は取り外さないでください。
揚水不能の原因になります。
付属のベンチュリー(白)は使用しません。
〔J15-7Xにベンチュリー(黒)はありません〕



CT形と組み合わせの場合

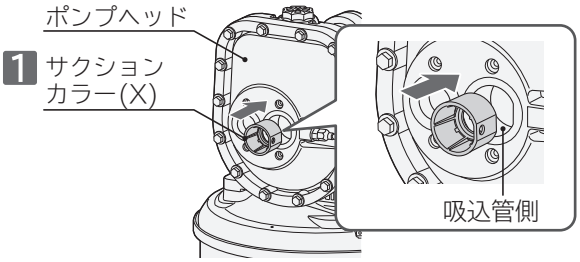
吸上高さが3mより浅い場合、または押込み揚程の場合浅井戸ジェットに押しばねを入れてください。押しばねを入れないと、圧力タンクに十分な空気が補給されません。圧力タンク内の空気が不足すると、ポンプが停止しなかったり、運転中の圧力変動が大きくなる場合があります。



吸上高さが3mより深いときは、押しばねを入れないでください。

1 ポンプヘッドにサクションカラー(X)を差し込む

J15-7Xにはサクションカラー(X)は付属していませんので、この作業は必要ありません。



2 吸込管の先端にストレーナを取り付ける

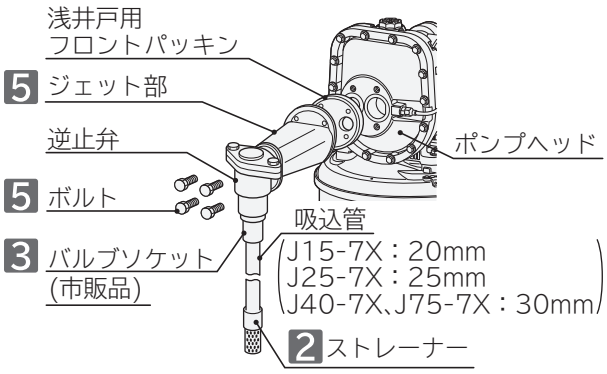
3 ジェットにバルブソケット(市販品)をねじ込み、吸込管を接続する

4 固定金具を取り付ける
(配管質量がポンプに加わらないようにする)

固定金具を取り付けないと、配管質量によりポンプが傾き、水平に設置できません。

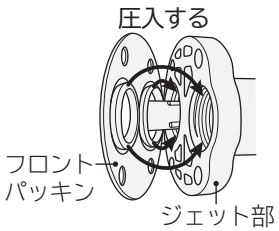
5 ジェットをポンプに取り付ける

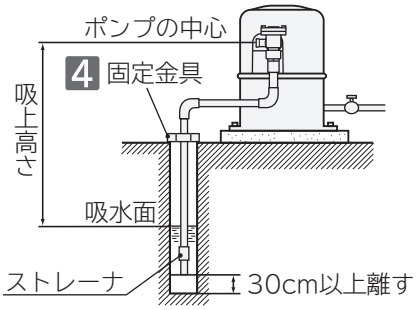
ジェットに付属のボルト(M8×30)をお使いください。



ご注意

水封性・作業性向上のためフロントパッキンの突部をジェット部に圧入後、作業を行ってください。
(J15-7Xは除く)

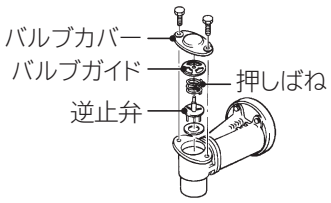




非自動ポンプまたはW形以前のポンプをお使いのお客様

CT形と組み合わせの場合

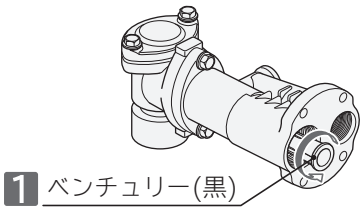
吸上高さが3mより浅い場合、または押込み揚程の場合浅井戸ジェットに押しばねを入れてください。押しばねを入れないと、圧力タンクに十分な空気が補給されません。圧力タンク内の空気が不足すると、ポンプが停止しなかったり、運転中の圧力変動が大きくなる場合があります。



吸上高さが3mより深いときは、押しばねを入れないでください。

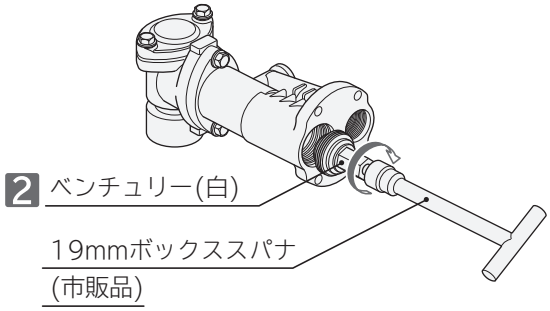
1 ベンチュリー(黒)を反時計方向に回し取り外す

ベンチュリー(黒)は使用しません。
また、J15-7Xにこの作業はありません。



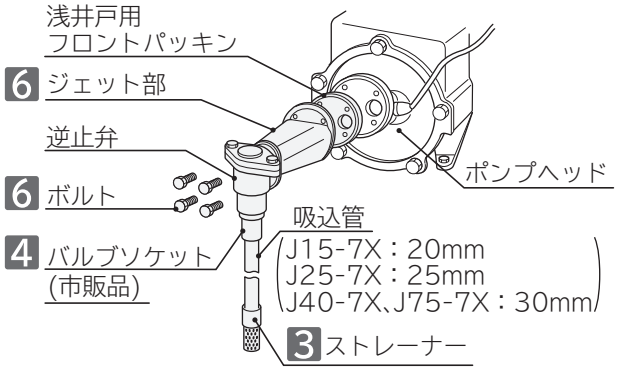
2 付属のベンチュリー(白)を時計方向に回し取り付ける

市販の19mmボックススパナでしっかりと締め付けてください。
また、J15-7Xにこの作業はありません。



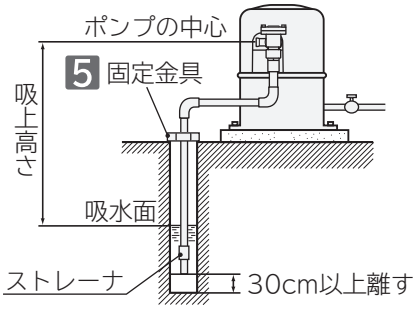
3 吸込管の先端にストレーナを取り付ける

4 ジェットにバルブソケット(市販品)をねじ込み、吸込管を接続する



5 固定金具を取り付ける
(配管質量がポンプに加わらないようにする)

固定金具を取り付けないと、配管質量によりポンプが傾き、水平に設置できません。

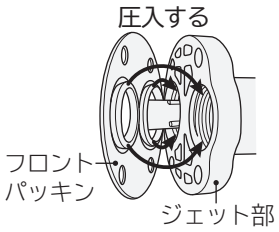


6 ジェットをポンプに取り付ける

ジェットに付属のボルト(M8×30)をお使いください。

ご注意

水封性・作業性向上のためフロントパッキンの突部をジェット部に圧入後、作業を行ってください。
(J15-7Xは除く)



運転について

1 ホッパーキャップを外し、呼び水を入れる

押込配管のときは、水源から急激に流れ込む場合がありますのでご注意ください。

2 ホッパーキャップをしっかりねじ込む

3 同時に使う水栓を開く

4 電源プラグをコンセントに差し込む

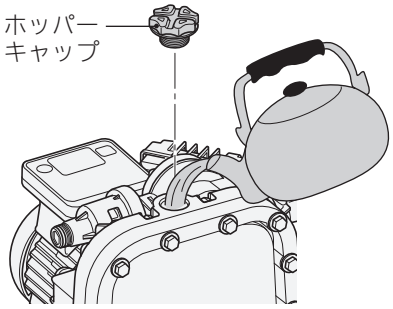
5 運転開始後、揚水することを確認する

数分で揚水しない場合は、再び呼び水をしてください。

6 耳ざわりな音がする場合は、コントロールバルブの調整ネジをしめ込む

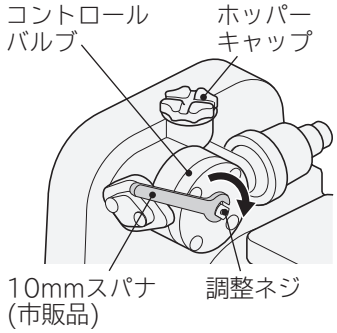
据え付け後、運転のはじめにホッパーキャップを外して呼び水を入れます。

●モーター、コントローラー、リアクトルなどの電気部品に水がかからないように注意してください。

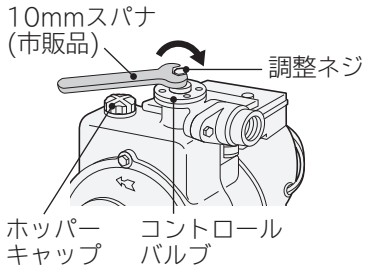


●数分で揚水しない場合は、再び呼び水をしてください。2～3分ごとに再び呼び水をすると、早く揚水します。

自動ポンプの場合



非自動ポンプの場合



この製品は日本国内用です。海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

日立グローバルライフソリューションズ株式会社

〒105-8410　東京都港区西新橋2-15-12
電話（03）3502-2111